

# 平成26年度 新丸山ダム環境モニタリング調査

## 重要種(鳥類)調査

・調査内容＝猛禽類調査、クマタカ調査

＜目的＞

### 1. 猛禽類調査

工事区域もしくは工事予定区域を対象として、猛禽類の生息・繁殖状況を把握し、工事影響の有無を確認する。

- ① 県道井尻八百津線
- ② 原石山線
- ③ 国道418号付替区間

### 2. クマタカ調査

繁殖状況を主としたクマタカの現状を把握する。

Aペア、Bペア、Cペア、Dペア

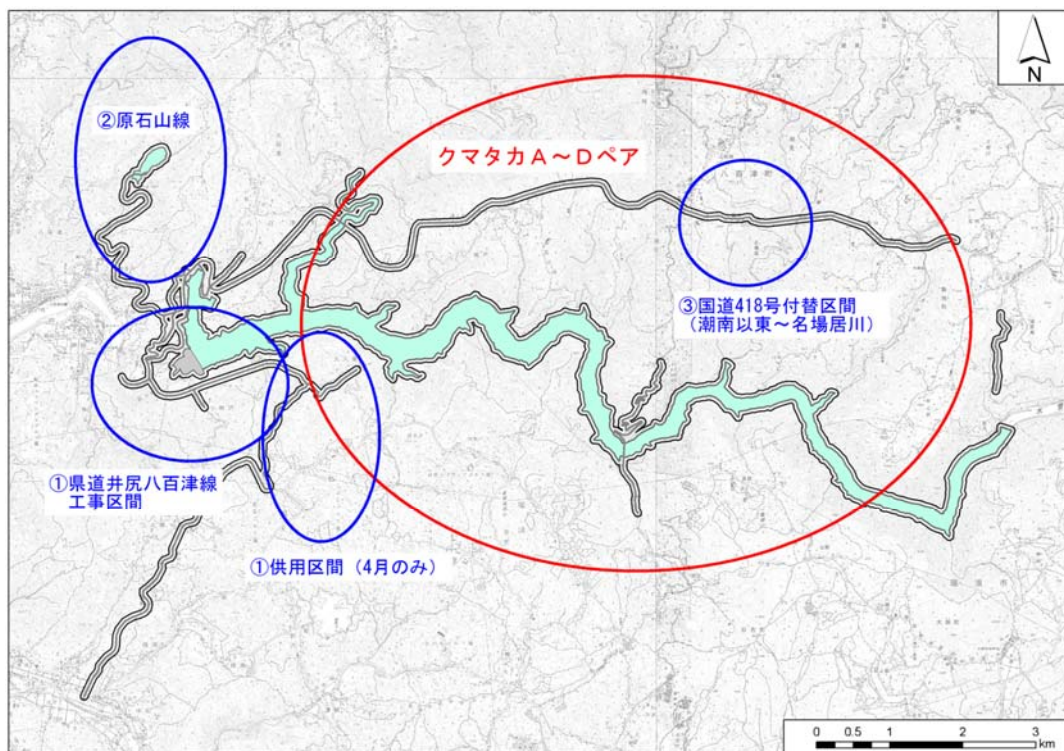
# 調査実施計画

区分	平成26年												平成27年				
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月					
猛禽類調査	県道井尻八百津線	○		○	○												
	原石山線					○						○		○			
	国道418号付替区間					○						○		○			
クマタカ調査	Aペア					○											○
	Bペア				○	○						○		○			
	Cペア				○							○		○			
	Dペア				○	○						○		○			

●→ 工事 ○: 実施

2

## 調査地域



3

# 猛禽類調査

## 1. 猛禽類調査

### ①-1 県道井尻八百津線

対象種

オオタカ、クマタカ等猛禽類全般

調査時期

平成26年4月、6月、7月の3時期

調査方法

定点観察、移動定点  
観察(道路上を歩きな  
がら観察する)

調査地点

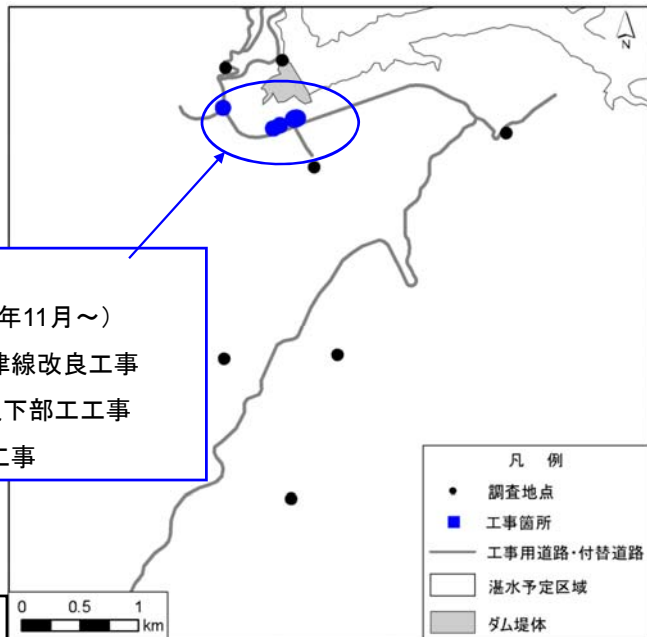
2地点×3日間(4月のみ4地点)

○工事実施

(平成25年11月～)

- ・井尻八百津線改良工事
- ・第2小和沢下部工工事
- ・橋梁下部工事

調査地点・工事箇所



4

## 1. 猛禽類調査

### ①-2 調査結果

○確認種

- ・サンバ、ハチクマ、オオタカ、ハイタカ、ツミ、ノスリの6種
- ・繁殖行動を確認⇒サンバ、ハチクマの2種

○6月

- ・サンバの繁殖行動を確認 (餌運搬、監視とまり)
- ・オオタカの繁殖行動なし

○7月

- ・ハチクマのペアでの出現、ディスプレイ、他種への攻撃行動を確認

○工事影響について

- ・サンバの巣と工事箇所との距離: 直線約440m
- ・ハチクマの営巣の可能性のある林との距離: 250m
- ・巣(想定)から工事箇所を見通せない。工事中も繁殖を行っていたことから工事影響はほとんど無かった。

## ②-1 原石山線

対象種

オオタカ、クマタカ等猛禽類全般

調査時期

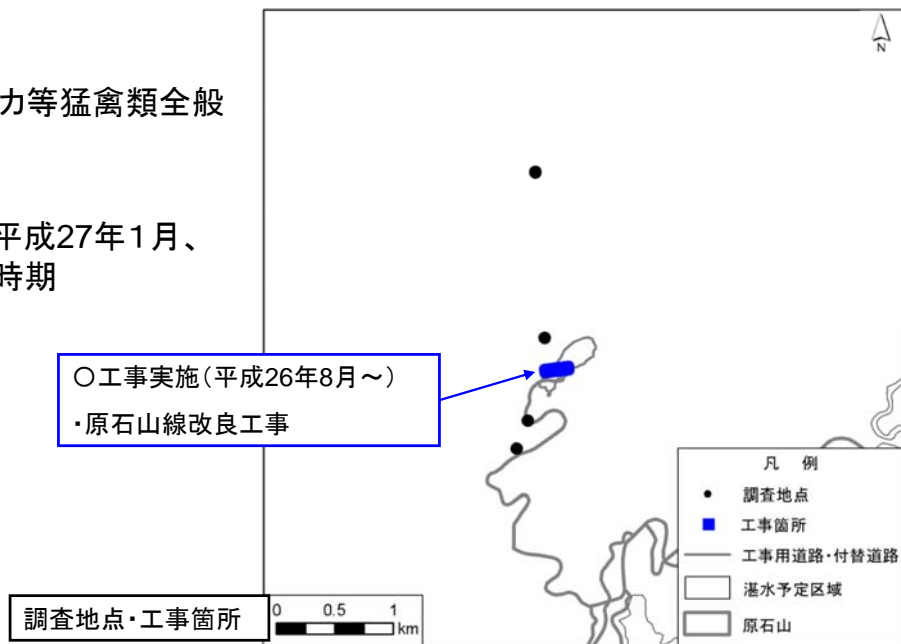
平成26年7月、平成27年1月、  
3月(予定)の3時期

調査方法

定点観察

調査地点

2地点×3日間



6

## ②-2 調査結果

○確認種

- ・オオタカ、クマタカ、サシバ、ハチクマ、ハイタカ、ノスリの6種
- ・繁殖行動を確認⇒なし

○平成26年7月

- ・ハチクマのディスプレイ、他種への攻撃行動を確認
- ・いずれも餌運搬等の繁殖行動なし

○平成27年1月

- ・いずれの種も飛翔のみ確認
- ・クマタカは荒川流域で単独飛翔を確認。

○工事影響について

- ・繁殖の可能性がある猛禽類は生息していないことから、工事による影響は無い。

7

## ③-1 国道418号付替区間

対象種

オオタカ、クマタカ等猛禽類全般

調査時期

平成26年7月、平成27年1月、  
3月(予定)の3時期

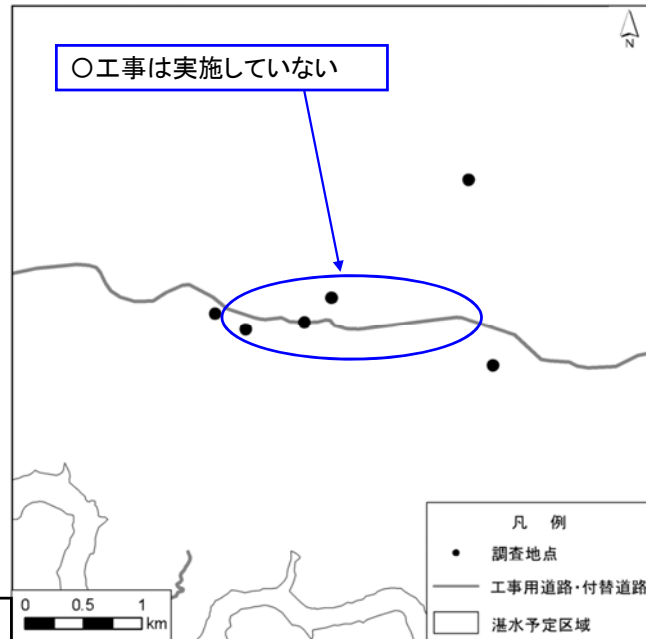
調査方法

定点観察、林内踏査

調査地点

2地点×3日間

調査地点・工事箇所



8

## ③-2 調査結果

○確認種

- ・ハイタカ、ツミ、ノスリの3種
- ・繁殖行動を確認⇒潮南以東(工事予定区間)ではなし

○平成26年7月

- ・ノスリの幼鳥、営巣木を確認 (供用区間のみ)

○平成27年1月

- ・繁殖行動なし

○工事影響について

- ・繁殖の可能性がある猛禽類は生息していないことから、工事による影響は無い。

9

# クマタカ調査

## ○調査実施状況

対象種

クマタカ、その他猛禽類

調査時期

6月、8月、12月、2月(予定)の基本4時期  
(Aペアのみ8月、2月の2時期)



クマタカ

調査方法

定点観察

調査箇所

過去に生息が確認されているA~Dペアの4営巣地

## ○各ペアの経年の繁殖状況

平成26年繁殖シーズンは、Aペアが繁殖に成功した。

ペア名	繁殖シーズン																					
	H5	H6	H7	H8	H9	H10	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26
Aペア	○	×	×	不明	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	×	○	○	-	-	-	○	○
Bペア	-	-	-	-	-	-	不明	×	○	○	-	×	-	-	×	○	×	-	-	-	×	×
Cペア	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	不明	×	×	×	-	-	-	×	×
Dペア	-	-	-	×	×	不明	×	×	×	×	不明	-	-	-	-	-	×	-	-	-	×	×

■:ペアの確認、○:繁殖を確認、×繁殖失敗または繁殖しない、-調査せず

# ○調査結果

## Aペア

繁殖成功

○8月

成鳥4回、幼鳥2回確認  
幼鳥は営巣木及びその直近で出現



Aペアの巣(下)と平成26年生まれ幼鳥(上)

## Bペア

繁殖していない

○6月

成鳥の出現を5回確認  
N1巣への出入りあり、餌運搬等の繁殖行動なし

○8月

成鳥の出現を9回確認、ペアでの出現、幼鳥なし  
主にN2巣付近で出現、1m程の枝運びを確認

○12月

成鳥の出現を6回確認、幼鳥なし、2羽とまり



成鳥♂?(8月)



成鳥♀?(8月)

## Cペア

繁殖していない

○6月

成鳥1回確認、繁殖行動なし  
⇒繁殖していないと判断。

○12月

成鳥17回確認、幼鳥なし、営巣地斜面から西側の谷を挟んだ南東向き斜面にかけて集中攻撃あり



成鳥♂?(12月)



成鳥♀?(12月)

## Dペア

繁殖していない

○6月

成鳥の出現を6回確認、繁殖行動なし

○8月

成鳥6回確認、幼鳥なし、繁殖行動なし

○12月

成鳥2回確認、幼鳥なし、繁殖行動なし  
ペアでの出現なし

# 重要種(植物)調査

・調査内容＝植物調査(種子植物、シダ植物)、植物モニタリング調査

## ○目的

### 1. 植物調査(種子植物、シダ植物)

工事区域もしくは工事予定区域を対象として、対象種(32種)及びその他の重要な種の調査を行い、工事影響の有無を予測するとともに、保全対策の検討を行った。

〈対象地域〉

調査地域Ⅰ(原石山)、調査地域Ⅱ(小和沢)、調査地域Ⅲ(ダム周辺)、調査地域Ⅳ(潮南)

### 2. 植物モニタリング調査

調査地域Ⅱ(小和沢)の県道井尻八百津線周辺の2箇所(移植地等2種)についての生育状況調査を行った。

〈対象〉

・ツチアケビの移植後の生育状況 ・伐採予定地周辺のエビネの生育状況 14

## ○調査地域・調査対象種





# ○調査実施状況

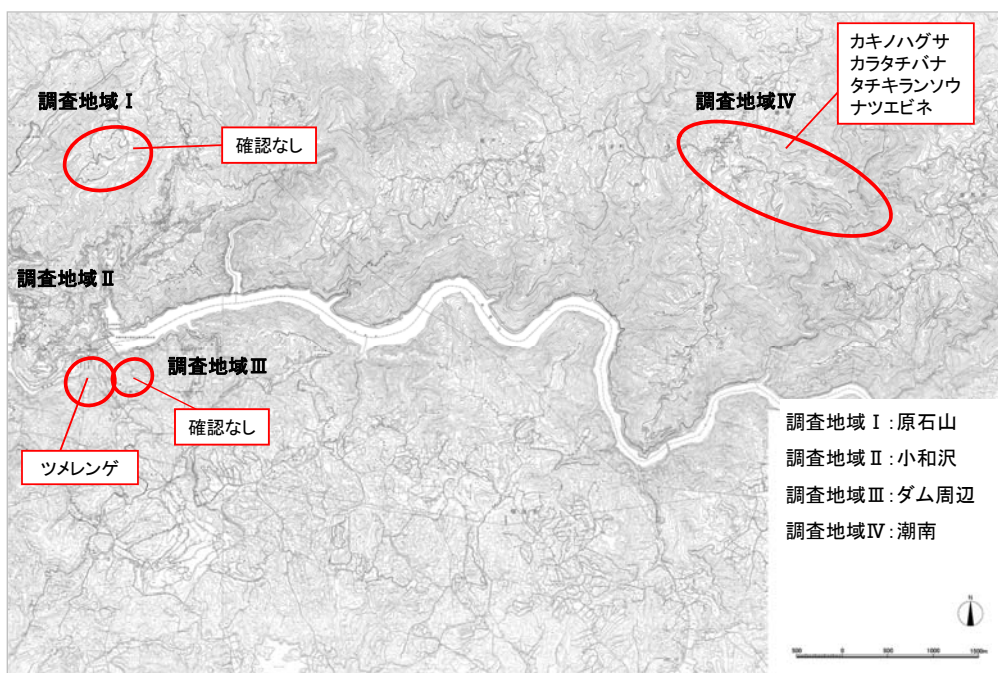
調査項目・時期	調査日	調査場所	調査方法
植物調査	春季:H26. 6. 25～26 夏季:H26. 8. 28～29 秋季:H26. 10. 15 H26. 10. 30～31	調査地域Ⅰ～調査地域Ⅳ	任意踏査を行い、重要な種の生育状況を確認を行う。
植物補足調査	秋季:H26. 10. 30～31	調査地区Ⅳ	
植物モニタリング調査	H26. 6. 26、7. 10、8. 29	調査地域Ⅱ(県道井尻八百津線)周辺	昨年度移植したツチアケビの生育状況の確認
その他	H26. 6. 26、7. 10、8. 29	調査地域Ⅱ(県道井尻八百津線)周辺	工事箇所近傍のエビネの生育状況の確認

## 1. 植物調査(種子植物、シダ植物)

# ○調査結果<1.植物調査(種子植物、シダ植物)>

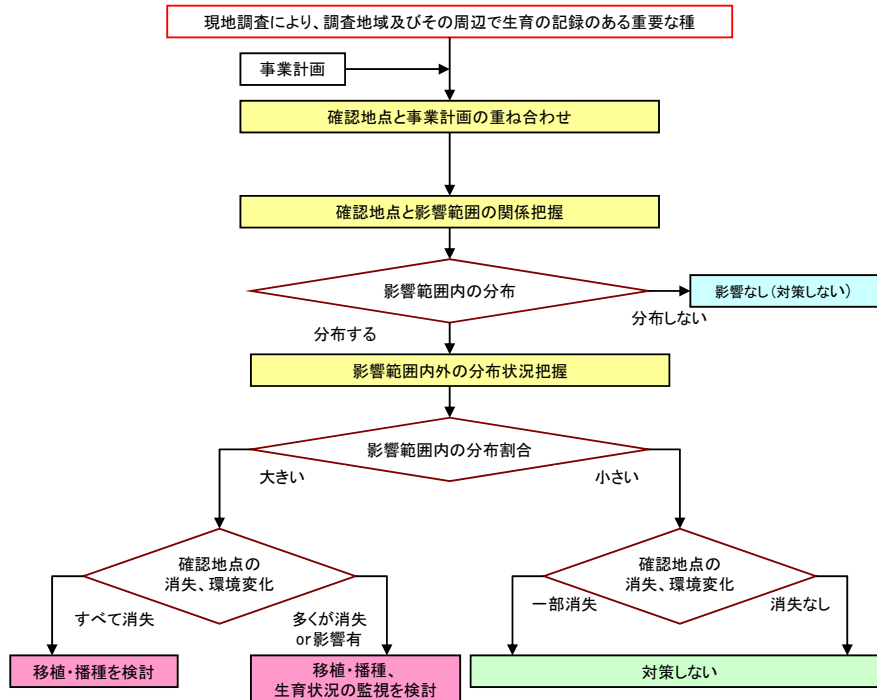
### 《調査対象種の確認状況》

調査の結果、調査対象種のうちツメレンゲ、カキノハグサ、カラタチバナ、タチキランソウ、ナツエビネの5種を確認した。



# ◆保全対策の検討

調査対象種に該当するツメレンゲ、カキノハグサ、カラタチバナ、タチキランソウ、ナツエビネの5種については、環境レポートのフロー(下図)に準じて、保全対策の検討を行った。



18

## ①ツメレンゲ

〔工事による影響〕

影響範囲外に生育しており、工事による影響はないものと予測される。

〔保全対策の必要性〕

なし

(影響範囲内に分布しないため)



## ②カキノハグサ

〔工事による影響〕

影響範囲内外で確認され、工事による影響は小さいと考えられる。

〔保全対策の必要性〕

なし

(確認地点の消失、環境変化が一部消失にとどまるため)



19

### ③カラタチバナ

〔工事による影響〕

影響範囲内外に比較的多くの個体が生育しており、工事による影響は小さいと考えられる。

〔保全対策の必要性〕

なし

(確認視点の消失、環境変化が一部消失にとどまるため)



### ④タチキランソウ

〔工事による影響〕

影響範囲外に生育しており、工事による影響はないものと予測される。

〔保全対策の必要性〕

なし

(影響範囲内に分布しないため)



### ⑤ナツエビネ

〔工事による影響〕

影響範囲外に生育しており、工事による影響はないものと予測される。

〔保全対策の必要性〕

なし

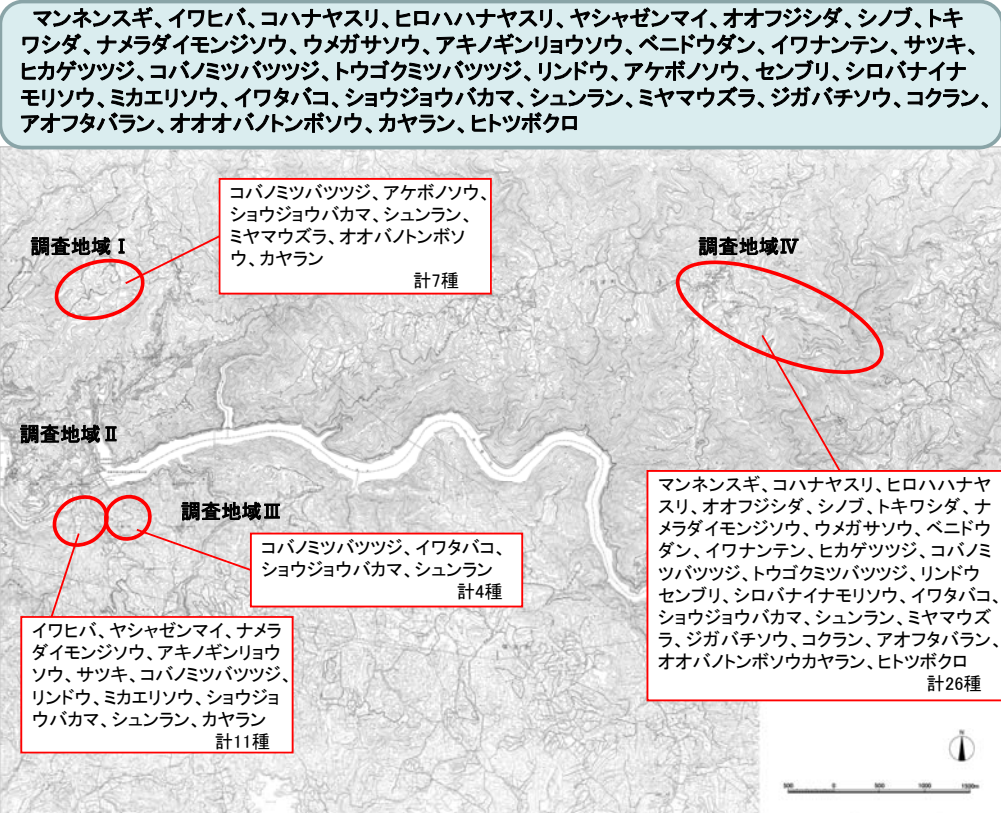
(影響範囲内に分布しないため)



《その他重要な種の確認状況》

1. 植物調査(種子植物、シダ植物)

調査の結果、対象種に含まれない重要な種(環境省RL、岐阜県RDB、国定公園指定植物、御嵩町RDBの掲載種)として32種類を確認した。



1. 植物調査(種子植物、シダ植物)

マンネンズギ	イワヒバ	コハナヤスリ	ヒロハハナヤスリ	ヤシャゼンマイ	オオフジシダ	シノブ
トキワシダ	ナメラダイモンジソウ	ウメガサソウ	アキノギンリョウソウ	ベニドウダン	イワナンテン	サツキ
ヒカゲツツジ	コバノミツバツツジ	トウゴクミツバツツジ	リンドウ	アケボノソウ	センブリ	シロバナイナモリソウ
ミカエリソウ	イワタバコ	ショウジョウバカマ	シュンラン	ミヤマウズラ	ジガバチソウ	コクラン
アオフトバラン	オオバトンボソウ	カヤラン	ヒトツボクロ			

## ◆調査対象種以外の重要な種の取扱いについて

確認された32種のうち、木曾川飛騨川国定公園指定植物と御嵩町RDBのみに該当する25種については、いずれも指定地域外に生育するため、本項目の検討より除外する。残る、コハナヤスリ、ヒロハハナヤスリ、トキワシダ、ナメラダイモンジソウ、アキノギンリョウソウ、アオフタバラン、カヤランの7種については、保全措置の必要性について検討した。

### ①工事による影響があり検討が必要な種・・・ヒロハハナヤスリ

今年初めて確認された種(昭和62年度以降の調査)である。影響範囲内の確認であるため、その取扱いについては検討が必要である。

### ②工事による影響が一部あるが検討の必要はない種・・・コハナヤスリ、カヤラン

過年度の調査でも確認された種である。影響範囲内外で確認され、事業実施区域における生育地点、生育環境への影響は小さいと考えられる。

### ③工事による影響がないため検討が必要ない種・・・

トキワシダ、ナメラダイモンジソウ、アキノギンリョウソウ、アオフタバラン

いずれも影響範囲外での確認であり、これらの種の取扱いに関する検討は必要ないと考えられる。

## ○調査結果〈2.植物モニタリング調査〉

### ①移植後のツチアケビの生育状況

移植地(平成26年3月移植)の確認調査において、ツチアケビの生育は確認できなかった。なお、本種は年によって休眠する性質をもつことから、次年度も確認調査を行うことが

望ましい。



### ②エビネの生育状況

生育地周辺の伐採は開始されておらず、生育環境は昨年度の個体確認時と変わらない状況であった。調査時の個体の生育状況は良好であった。

